

立命館大学人文科学研究所紀要

No. 135

目 次

小特集：2020 東京オリンピック後のアーバンスポーツ / ライフ
スタイルスポーツ研究の展望と課題：パルクール・ス
ケートボード・都市空間

巻頭言

..... 市 井 吉 興 (1)

〈第 1 部〉

パルクール研究の新たな地平：

2020 東京五輪インパクトへの「対抗軸」を考える

3 名の登壇者からの話題提供

..... 上 田 滋 夢
..... 市 井 吉 興 (5)

〈第 2 部〉

デイスカッション

..... (43)

パルクールと創造する都市

—《Jump London》(2003) の制作背景に注目して—

..... 住 田 翔 子 (81)

ボールパークからストリートへ：

ベースボール型競技におけるアーバンスポーツ化の力学

..... 三 谷 舜 (107)

ポスト 2020 のスケートボードスケープ：

カンタン=プロの「預言」を越えるには？

..... 市 井 吉 興 (131)

論文

民主主義時代のインドネシア

—庶民派ジョコ政権下でのオリガーキー化—

..... 井 澤 友 美 (157)

THE DECLINE OF INDONESIA PARLIAMENTARY
CONTROL IN POST REFORMS

..... Muhammad Tri Andika Kurniawan
..... Suseela Devi
..... Nasrudin Mohammed (185)

行動システム理論によるアフリカ連合設立過程の分析

—地域機構における普遍的な規範の内面化—

..... 五十嵐 美 華 (199)

2023年3月

立命館大学人文科学研究所

